

YEEG通信

新発田商工会議所青年部

HP: <http://www.shibata-cci.or.jp/yeg>

去る、一月十一日(日)、新発田城址公園において当YEEG主催による「第五回城下町しばた全国雑煮合戦」が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、昨年の来場者数を上回る一万六千人にお越し頂き、多くの人で賑わいました。

開会式の前から、多くの人を訪れ、長蛇の列が出来ていたブースもありました。四十八種類の雑煮に、小さなお子様連れや、カップル・二年配の方まで「どの雑煮にしようか?」「この雑煮にしようか?」と迷いに迷い、色々な雑煮を味わって頂けたに違いありません。



決勝審査の様子

今回の雑煮コンテストは、午前中に予選審査として来場者からの投票を行い、上位五団体を選出した後、決勝審査として、味・見た目・アイディア・完成度・コストパフォーマンスの五項目の合計点で順位を決めました。

結果として大混戦の末、並み居る強豪を打ち破り、第五代征夷大将軍(優勝)の勅命を受けたのは、北海道の「花の都」恵庭すずらん城」の「魅力溢れる北の大地 多彩な北の味覚」北の三大力ニあんかけ雑煮」でした。



魅力溢れる北の大地
多彩な北の味覚～北の
三大力ニあんかけ雑煮

この雑煮は、鮮やかな四季と雄大な自然で育まれた食材を、熱いあんかけで包む質の高い匠の味をお客様に心ゆくまでご堪能頂くために作成された雑煮で、行列を裏付ける好評ぶりでした。

た。

また、当日はゴミの減量化を図るため、雑煮の容器の内側に貼ってあるフィルムをはがした上で回収するリサイクルステーションを設置し、容器と箸などの分別を徹底いたしました。

このリサイクルステーションには市内の高校生・大学生を中心にボランティアとして五十名以上集まって頂き、過去五年間続けてきた環境にやさしいイベントという点でも、今までにないくらい注目を浴びたように感じました。

寒い中、大きな声で、一生懸命に容器の取り扱ひ方や、分別方法を来場者に説明していました。



リサイクルステーションの様子

来い日が続きますが、着実に日も長くなり、春に向かって少しずつ進んでいるような気がするこの頃ですが、変わりなくお過ごしですか?

先日、開催させていただいた第五回城下町しばた全国雑煮合戦」には、一万六千人もの来場者を迎える事が出来ました。足もとの悪い中、来場頂いた方には、感謝申し上げます。雑煮合戦は、当青年部の最大の事業で、人念な計画・準備を行い、この一口の為に、会員の汗と涙と、多額の資金を投入し、行政親会の支援、各企業・団体様・ボランティアの皆さんのご協力などを頂いて、設営・運営など行っております。関係された皆様改めて御礼申し上げます。私共のやっていることが、まちの活性化の一助になつておると信じています。絶対に準備できないものが、お天気ですが、開催日は前日とうってかわって、奇跡と思えるほどの好天に恵まりました。會員はじめ、関係された皆様熱い思いが、雪雲を追い払い、朝の快晴を呼び込んだものと確信しておりますが、神様は、ホントにいるのだなあと感じた一日でした。

新発田商工会議所青年部

会長 石井俊

What's
ふたごのぼん